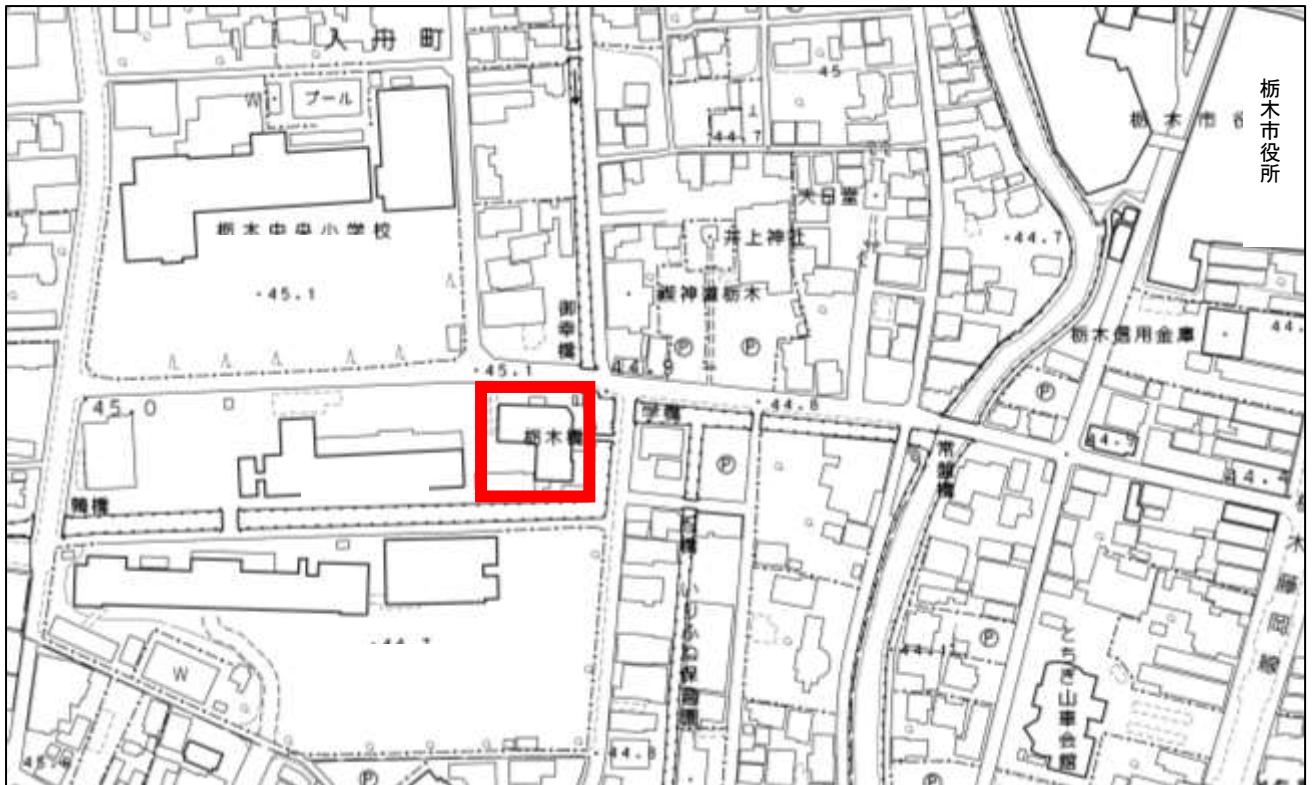


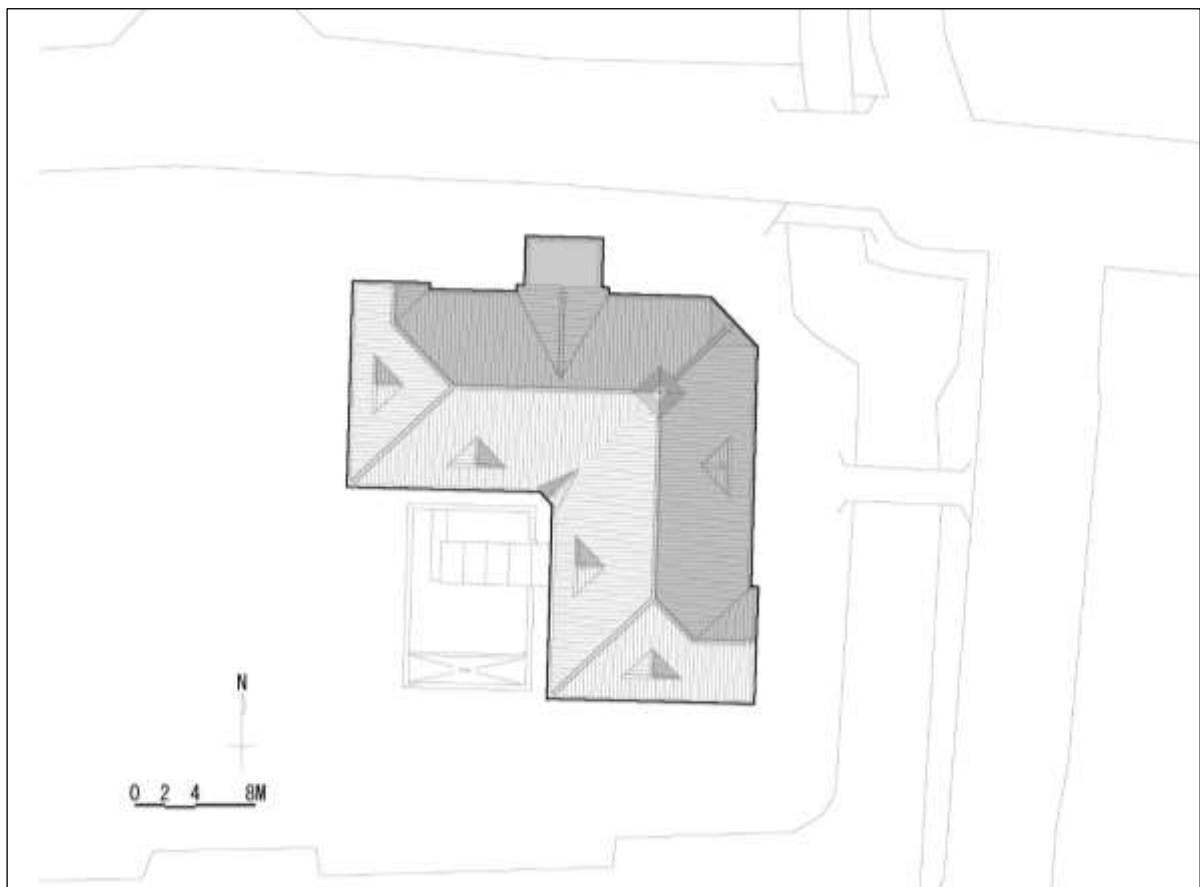
歴史的風致形成建造物 指定台帳

指定番号	14	名称	旧栃木町役場庁舎
指定年月日	令和2年3月11日	所在地	栃木市入舟町2番地2
所有者氏名	栃木市長 大川秀子	所有者住所	栃木市万町9番25号
建築年代 (根拠)	大正10年(1921)建築 (建築様式)	規模・構造	木造 瓦葺 2階建
特徴等	<p>県庁堀の景観になくはならぬ存在として市民に親しまれているのが、県庁跡地の東南隅に位置する旧栃木町役場である。大正10年(1921)11月に建設されたこの建物は、昭和12年(1937)4月に市制がしかれてからは市庁舎となった。</p> <p>木造2階建の洋風建築で、外壁は1階が板貼ペンキ塗り、2階は白壁に木造の骨組みを表し、屋根の上には小さな塔を乗せている。北側に張り出した玄関ポーチとその上部には、大正建築らしく新しい意匠(アールヌーヴォーやゼツェシオン風)が用いられている。</p> <p>建物の設計は、当時町役場の技師であった堀井虎吉である。堀井の経歴には不明な点も多いが、軽快で統一のとれた外観のデザインは腕の確かさを示している。</p> <p>大きな改変がなく当時の設計図も残されており、典型的な大正期の公共建築である。</p> <p>昭和12年(1937)市制施行以来、市庁舎として使用されていたが、平成26年(2014)に庁舎が移転したため、現在は、「文学館」として改修中である。(令和4年(2022)度開館予定)</p>		
形成する歴史的風致 (指定理由)	<p>商家町栃木にみる歴史的風致(巴波川にみる歴史的風致)</p> <p>商家町としての繁栄に重要な役割を担ってきた「母なる川」である巴波川の東に位置する県庁堀の区画内に建つ建造物で、巴波川沿いの歴史的な景観とともに大切にされている。</p>		
備考	市指定文化財(平成29年(2017)12月28日)		





旧新木町役場庁舎 案内図



配置図